

国際経済学科Ⅲ

本多 克俊

卒業を迎え4年生から後輩へのアドバイスということなのですが、恥ずかしながら私は大学生活、卒論、就活とほとんどなんとなくな〜く中途半端に過ごしてきてしまいました。そうなってしまった理由はいろいろあって、両親の離婚、姉の家出、私自身がマルクスに傾倒したこと、叔父がセクハラで逮捕されてしまった、というのは全部嘘で、単純に計画性がないことが原因みたいで、そんな私から言えることはなく、むしろ優秀な後輩の方々からアドバイスしてもらいたいぐらいです。4年間のいろいろな経験で学んだことといっても「計画を立てて行動する」ことや「時間には余裕を持って行動する」ことといった極々あたりまえのこと、しかも、それさえ未だに満足に出来ていない。そんな私が「こうした方がいい！」と偉そうに言えるものはまだないのです。

しかし私は本だけはたくさん読んで自負があります。もちろんウイトゲンシュタイン全集からオルダス・ハクスリーのすばらしい新世界、世界大思想全集もカミュの異邦人もカフカの変身も西田幾多郎全集も太宰治の斜陽も立川談志の現代落語論も、すべてタイトルだけなら聞いたことがあります。読んだ本の中で一番胸に響いた言葉は、村上龍の小説『69』のあとがきにある、効率的な復讐の仕方についての格言です。

「嫌な奴への唯一の復讐方法は、彼らより楽しく生きることだ。」

面白いのでぜひ読んでみてください。文章も少し真似てみました。大学生活と関係のない文章になってしまいましたが、参考になれば幸いです。なんないよね。

齊藤 千早

私は、3年次から藤井ゼミに参加しました。今思うと、大学生活ではゼミが一番ウェイトを占めていると思います。ちょうど就職活動が始まる時期から卒業にかけて、同じ状況でたくさんのかたを語り合える仲間はとても貴重でした。今では途中からゼミに参加してはいたはずなのに、最初から一緒にいた仲のようです(と勝手に思っています)。

さて、参考にはならないと思いますが、就職活動に関することで少し...

就職活動は早め早めに行動することをお勧めします。最初、たくさんのかたの情報に圧倒されますが、それも慣れてくれば、自分の見ている情報の傾向が見えてきます。自分を客観的に見ることを心がけるといいと思います。情報収集と並行してSPIなどの筆記対策も進めました。早い時期に参考書を1冊終わらせてしまえば、あとは問題を時間のあいたときにでも解いていけば十分だと思います。そして、面接は、自分を売り込む場です。最初からうまくできる人はなかなかいません。でも、毎回、面接後にフィードバックを行い、反省点を書き出して次に生かしました。面接に臨んだ時は、緊張よりも好奇心のほうが強かったです。逆に会社を見ることのできる場所だということを忘れないでください。

就職活動は「人」との出会いだとよく言いますが、経験してみるとよくわかります。しかし、どんな人に出会うかは自分次第です。自分の行動次第でたくさんのかたのことを吸収できます。就職活動を始め

てから一日一日がものすごく充実していました。小さい頃に時間が長く感じていた時と似ています。最近、時間があっという間に過ぎると感じてしまう人は、知らず知らずのうちに新しいことにチャレンジすることをしていないのではないのでしょうか。ぜひ、よく知らない、でも自分にとってプラスな環境に飛び込んでみてください。

と、偉そうに書いていても、就活で出会った人たちと飲んだビールの味は格別でした。ほんとにおいしいですよ。

きっと参考にはならなかったと思いますが、つまりは自分次第、というわけです。ゼミ活動も就職活動も遊びも、もちろん飲み会も、です。

岩壁 誠

藤井ゼミ 4年岩壁です。藤井ゼミの皆さんは優秀なので、アドバイスなんてできない立場にいるのですが（現に卒業できるかも危うい）ゼミ、卒論、就職活動と一通り経験してきたので、アドバイスと言うより過去を振り返ってみたいと思います。

・ゼミ

藤井ゼミに入っていなかったら大学をやめていたんじゃないかというほど重要なものになっていました。もともと、大学にはあまり行っていなかった人間なので、ゼミに所属しゼミ仲間と課題や飲み会を通じて「あ、大学生っぽいことしてる」と感じるほどでした。もし、「学校つまらねーなあー」と思っても、ゼミだけは続けた方がいいと思います。藤井先生にはだいぶ感謝しています。

・卒論

私は卒論提出5日前にデータを紛失しました。昔作成したデータを用いて何とか完成させましたが、これにはだいぶ応えました。バックアップはこまめにした方がいい！！

・就職活動

あまり学校に行っていなかったためか、まわりが就職活動をしている雰囲気をつかめず、気づけば3月でした。このころになると、自分の向かうべき道は曖昧だし、面接や自己アピール、SPI等スキルの的なものを含めだいぶ差が付いていました。面接時、周りの学生が素晴らしいことを言っていて自分の不器用さに閉口したのが思い出されます。ちゃんと学校に行って、友達と情報交換をして早めに動き出すことが非常に重要です。後、単位は今のうちに取れるだけ取っておかないと、あとあとすごいことになります。

藤井ゼミのみなさんへ

和泉 明日香

私の4年間の大学生活の話をしましょう。まず、通学には1時間30分かけて通い、サークルには入りませんでした。その代わりに、教職の授業をとっていました。

大学生活で一番ハマったことは、映画鑑賞と旅行でしょう。レンタルなら、1日で7本観ることもできます。こんな変なことをしたのは、大学2年生の夏休みがピークでした。さらに、3年生の夏を迎えて就職活動のネタ作りのために、信越地震被災地の山古志村へ1週間行きました。ちなみにその経験話が就職活動に良い影響があったとは言えません(笑)。しかし、日本で知らないことはまだまだたくさんあるんだなあ、と感ずることができました。他には韓国や上海、バリ島など旅行にも行きました。

現在4年生で、就職を間近にして一つ言えることは、時間を有効に使うべきだということです。今しかない大学生活を満喫してくださいね。私はもっと海外に長期旅行をしたかったなと最近思います。大学生活は、自分が好きだと思ったことに対して全力で力を注いでください！

田中 伸穂

振り返れば藤井ゼミに入り、3年近くもの月日が流れようとしています。この3年間で僕は多くの事を学び、経験し、ある一つの考えをととても大事にしてきました。それは、目標を立てる際に、ただ単に目標を立てて行動するのではなく、期限や達成基準・優先順位を盛り込み行動するという事です。

なぜかと言うと、それはただ単純に後悔したくないからです。「やるからには絶対あきらめない」という気持ちは、就職活動・卒業論文など様々な事に役立ちます。目標をしっかりと立て、この気持ちを持って行動すれば、結果はどうあれ、その過程は必ず有意義なものになると思います。

皆さんも自分でやると決めた事は絶対あきらめずに死ぬ気で頑張りましょう！

気持ちが強ければできないことなんてありません。

鶴原 研太郎

これから2,3年生の皆さんは卒論やら就活やらで忙しくなってくると思いますが、私なりに思うことをアドバイスしようと思います(かなり偏った意見だと思います)。

卒業論文については2,3年生の皆さんにも是非完成させてほしいと思います。私自身、論文が完成した時は大きな達成感を得ましたし、きっと皆さんが思っているほど大変なものではないと思います。完成させるためのコツとして一番に挙げたいのが、テーマを自分が興味のあることに設定するという事です。興味のないテーマを設定してしまうと、卒論そのものに対する興味も薄くなってしまおうからです。テーマにはそれほど大きな制約もありませんし、比較的自由に設定できるものなので、調べてみたいことをテーマにできれば執筆も楽になると思います。それと、多くの方がそうだと思いますが、ギリギリになって一気に進めるのではなく時間のあるときにでも少しずつ進めていったほうがいいです。おそらく先生もそう言っていると思いますが。

就活に関しては、面接どうこうというより、学生時代何もやっていない人は苦勞するのではないかと思います。これだけは頑張った！ということが1つでもある人とない人では全然違うと思います。何かに対して本気で頑張れば必ずなにかしらの気付きが生まれます。その気付きは就活をする上でも必ず役に立つと確信をもっていえます。もし自分は何もしていないと思う方は、今からでもまだ遅くないと思うので、なにかしらやってほしいと思います。本気で頑張れることであればなんでもいいと

思います。それと自分に自信を持つことも大事です。私の場合、集団面接なんかも経験しましたが、他の学生に対して「こいつらなんかより絶対自分のほうが仕事できるし会社に貢献できる！」と思いながらやっていた（無理矢理そう思っていたのではなく本当にそう思っていました）。自身過剰なくらいで丁度いいと思います。少なくとも自分に自信がない人よりは絶対にいいでしょう。今年からは就職も大変になるようですが、タフな心で頑張してほしいと思います。

学生生活は、とにかく今しかできないことを思う存分やってほしいと思います。後悔しない学生生活を送るためのコツは、お金はケチらずバンバン使うこと、時間も惜しまないこと。もし1日24時間じゃ足りないよ〜と思う場合は寝る時間を削るべきです。なんとかなります。とりあえず、メリハリが大事 だと思います。それでは残りの学生生活楽しんでください。

石川 将人

○テニスサークル

2年生の終わりまで、東洋大学硬式テニス同好会連盟に加盟しているテニスサークルに所属していました。連盟に加盟しているサークルの会員1000人以上が参加する連盟主催の大会運営にも携わりました。大会運営を通じて、皆で一つの目標に向かい頑張ることの素晴らしさを学べたと思います。

○学園祭実行委員会

学園祭のスポンサーと交渉する渉外担当として3年間活動しました。最後の1年間は、広告渉外という活動を統率する広告渉外長という役職を勤めました。人の上に立つ厳しさや、100人を超える組織における身の置き方など、学ぶ事の多い経験が出来たと思います。

○アルバイト

スーパーマーケットの青果部門で4年間アルバイトをしていました。働いてお金を貰うことの厳しさを学べたと思います。

○就職活動

サークルや学園祭実行委員会、アルバイトでの経験談を上手く使っていけば、5月中旬までには内定をもらえると考えていました。しかし現実には甘くありませんでした。20社以上から不採用通知をもらい、辛い日々が続きました。4月に入社する会社から内定を頂いた時の嬉しさは今でも覚えています。色々な業界、会社の採用試験を受けられるのは、新卒という肩書きがある今だけです。後悔しないように、就職活動は一生懸命行ってください。

○卒業論文

思うように資料が手に入らず、10月下旬で3000字程度しか書き上がっていませんでした。何度もあきらめようと考えましたが、藤井教授の丁寧な指導や仲間の励ましもあり、何とか完成させることが出来ました。卒業論文の作成は、論理的な話の展開方法やパソコンのスキル向上にも繋がるので、書くことをお勧めします。